Vol.46　チャーチ・モードの各スケールを覚える　～その 8～

『10 分トレ』vol.46、始めていきましょう。

今回からリディアンスケールを覚えていきます。

フリジアンの、トニックからネック側へ展開するポジションはドリアンのものと重複しているので、そちらでトニックを変更して弾いてみて下さい。

トニックは F 音に設定し、F リディアンとして弾いて行きます。相も変わらず、構成音は C メジャー(アイオニアン)スケールと同じですね。

それでは、ポジションと譜例は以下になります。

図 1、F リディアン、6 弦トニックポジション

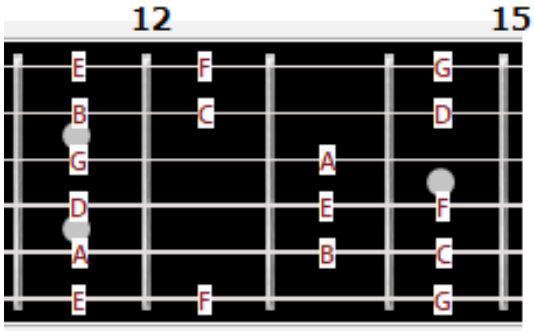
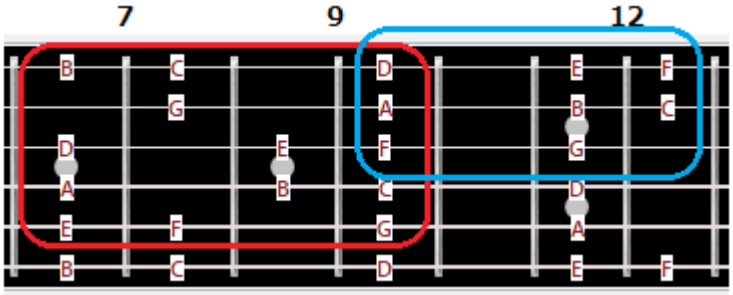


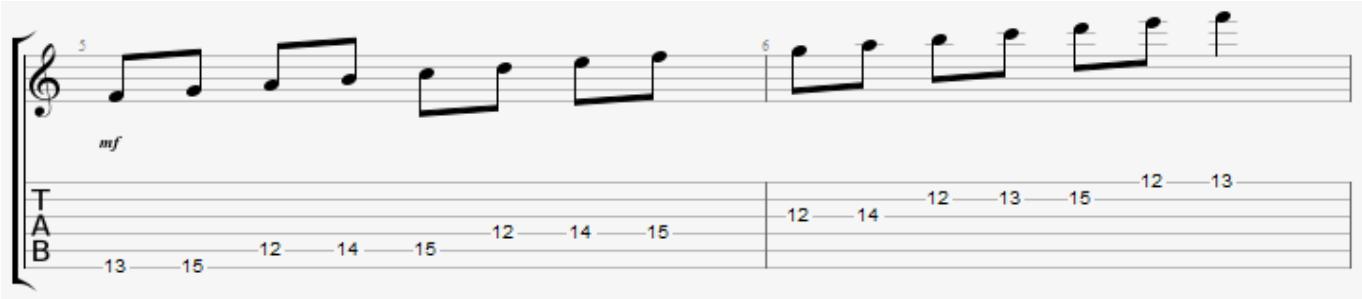
図 2、F リディアン、5 弦トニックポジション



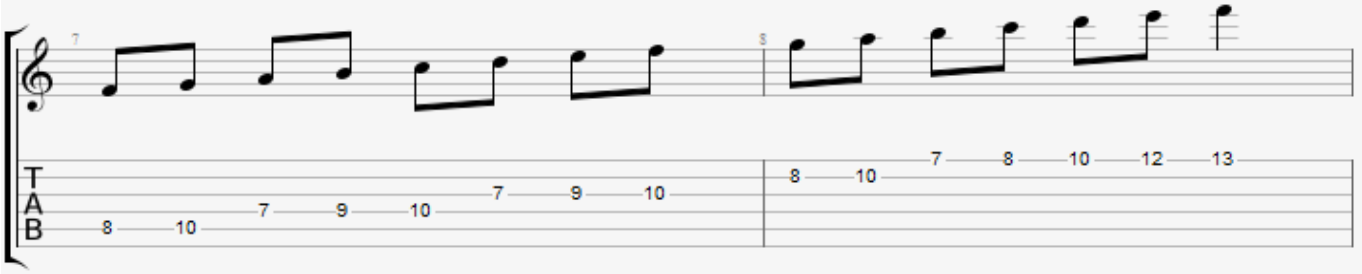
6 弦トニックの方は今まで通りですが、5 弦トニックの方は 1 弦のトニック F 音まで進む方法が色々あるので、ここでは 2 つのパターンで弾いてみましょうか。

譜例 1、F リディアン、6 弦トニックポジション

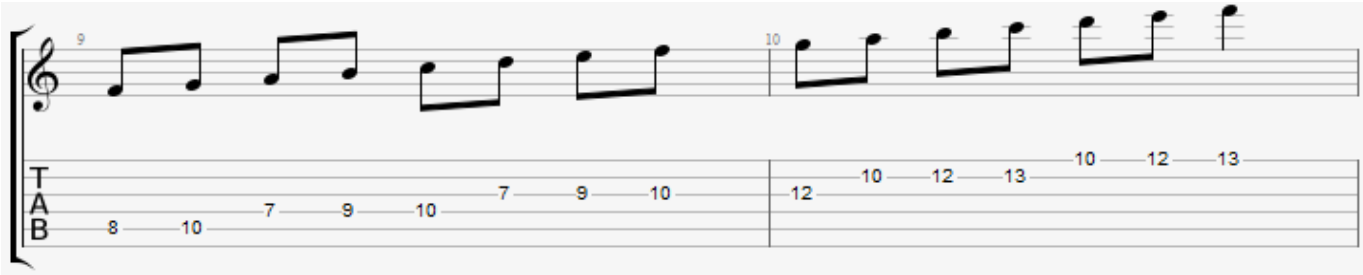
Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved



譜例 2、F リディアン、5 弦トニックポジション 1



譜例 3、F リディアン、5 弦トニックポジション 2



5 弦トニックの譜例はポジション移動がありますが、自分なりに指使いや左手をスッと移すポイントを考えてみましょう。

参考パターンとしては、過去にやってきた各種スケールの弾き方だったり、【教科書】の方でもその時の指定があったりするので、それらも参考にして下さい。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved